



2015年2月23日

損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社

ソフトバンクグループ SBアットワーク株式会社との提携

～ストレスチェックシステム「Wellness Eye」の提供開始～

ソフトバンクグループで人事系シェアードサービスを提供するSBアットワーク株式会社（東京都港区 代表取締役社長 島上 英治、以下「SBアットワーク」）と、企業向けメンタルヘルス対策サービスを提供する損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社（東京都千代田区 代表取締役社長 今井 達也、以下「当社」）は、メンタルヘルスサービス分野において業務提携をすることとなりました。

この提携により、両社はそれぞれのサービスメニューを補完し、お客さまに一層充実したサービスを提供する体制を構築してまいります。

1. 提携の概要

当社は、SBアットワークが東京大学 川上 憲人教授（東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野）との産学共同研究により開発したストレスチェックシステム「Wellness Eye（ウェルネスアイ）」を3月より販売開始します。当社は、すでにお客さまに提供しているストレスチェックシステム「LLax seed（リラク・シード）」、ストレスチェックと生産性（プレゼンティーズム）計測ツールをセットにした「LLax seed α（リラク・シード・アルファ）」に加え、さらに「Wellness Eye」の提供により、お客さまのストレスチェックに対する多様なニーズに応えるサービスラインアップの拡充を行います。

2. Wellness Eyeの概要

Wellness Eyeは、お客さまにとっての「使い勝手」「診断結果のリアルタイム性」「結果のわかりやすさ、正確さ」などをめざして製品化されたシステムです。パソコンのみならずタブレット端末、スマートフォンでも利用可能なマルチデバイス対応に加え、マニュアル不要なレベルをめざした直感的なユーザーインターフェースを採用、さらにはワンタッチでの英語表記切り替え機能を標準装備するなど、優れた使い勝手を実現しています。

質問項目は、新職業性ストレス簡易調査票（※1）から必要最低限に厳選した57問で構成しています。

ストレスチェック義務化（労働安全衛生法の一部改正）において質問項目の要件と位置付けられている（※2）、「仕事のストレス要因」「心身のストレス反応」「周囲のサポート」の3つの領域を網羅した調査票です。

組織別の集計結果は、管轄の組織長がWellness Eyeの画面上から確認いただくことが可能です。この組織結果では「総合健康リスク」（※3）に加えて、「組織活力度（いきいき度）」（※4）についてフィードバックレポートをご提供します。

3. 提携の目的

当社は創業以来、一つでも多くの「ヘルシーカンパニー」実現への貢献を目指して、企業のメンタルヘルス対策支援に取り組んでまいりました。

ストレスチェックサービスにおいては、職業性ストレス簡易調査票（※5）をベースとしたメンタルヘルス対策支援パッケージ「LLax seed」を2008年より提供開始し、現在まで100社を超えるお客さまにご利用いただいております。

当社では、お客さまの選択の幅を広げ、よりお客さま視点でニーズにお応えする体制整備の一環として、「Wellness Eye」を当社のサービスラインナップに加えるものです。

当社では、2015年12月1日のストレスチェック義務化の施行に向けて、我が国の企業が、適切かつ効果的に本法に則って、ストレスチェック制度を運用されるよう、サービス提供体制のより一層の充実化を進めており、本提携もその一環であります。



<ご参考>

名称	SBアットワーク株式会社
所在地	東京都港区東新橋1-9-2
代表者	代表取締役社長 島上 英治
設立	1999年4月1日
事業内容	人事・労務に関わる業務の請負

(※1) 「新職業性ストレス簡易調査票」

労働者や職場のストレス要因やストレス反応の測定には、職業性ストレス簡易調査票が広く使用されてきました。しかし今日、労働者のストレスやメンタルヘルスはより広い職場要因によって影響を受けています。新職業性ストレス簡易調査票(New BJSQ)では、現行版の職業性ストレス簡易調査票20尺度に、22の新しい尺度(推奨尺度セットの場合)を追加することで、これらのより広い職場の心理社会的要因、特に部署や事業場レベルでの仕事の資源および労働者の仕事へのポジティブな関わりを測定できるようになりました。(出典:「新職業性ストレス簡易調査票について」(2012年4月1日)平成21-23年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)「労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の浸透手法に関する調査研究」)

(※2) 「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関する検討会報告書」(2014年12月17日厚生労働省労働基準局安全衛生部)

(※3) 総合健康リスク

全国平均を100とした場合のリスク値。例えば120の場合、「平均より20%程度健康リスクが高い」と解釈されます。

(※4) 組織活力度(いきいき度)

従業員のいきいき度(ワーク・エンゲイジメント)と職場のいきいき度(職場の一体感)の2つの尺度から算出したスコア。

(※5) 職業性ストレス簡易調査票

職業性ストレス簡易調査票は平成7~11年度労働省委託研究「作業関連疾患の予防に関する研究班」ストレス測定研究グループが、多くのストレスに関する質問票を検証し、現場で簡便に測定・評価することが可能で、しかも信頼性・妥当性の高い調査票として開発したものです。職場のストレス要因とそれによるストレス反応、およびそれらの関係に影響を与える因子(家族や同僚の支援)を同時に測定し、ストレスを総合的に評価することが可能な調査票です(様々な業種、職種における約2.5万人の労働者のデータを基準としています)

なお上記※2の厚生労働省検討会において「国が示す標準的な項目は、旧労働省の委託研究により作成され、研究の蓄積及び使用実績があり、現時点では最も望ましいものであると考えられる「職業性ストレス簡易調査票」(57項目の調査票)とすることが適当。」と位置付けられています。

<本件に関するお問い合わせ先>

損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社

サービス統轄本部 小林(直)

コンサルティング本部 島田

TEL: 03-3262-3075 メール: info@snhs.co.jp

<会社概要>

- 【社名】 損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社
- 【設立日】 2007年4月2日
- 【資本金等】 7.9億円(資本金4.95億円、資本準備金2.95億円) *損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社100%出資
- 【本社所在地】 東京都千代田区二番町11-7 住友不動産二番町ビル2F
- 【代表者】 代表取締役社長 今井 達也
- 【事業内容】
 - ・メンタルヘルス対策プログラムおよびメンタルヘルスケアの各種支援ツールの研究・開発
 - ・企業のメンタルヘルス対策に関する産業保健体制の支援
 - ・企業のメンタルヘルス対策に関連した制度構築等に対するコンサルティング業務

